



# 森林レンジャーがゆく (73)

## 「初見、初耳」

自然のサイクルの中で、春から活発になる動物の活動を確認することは、わたしの楽しみの一つです。繁殖に向けた野鳥やカエルなどの動きや鳴き声を初めて見たり聞いたりする時期で、季節の移り変わりなどを知ることができます。ここで、わたしがこの春に記録した動物の「初見、初耳」の一部を紹介します。

ウグイスのさえずりは3月1日、ミソサザイのさえずりは3月9日、ヒメアマツバメの渡りは3月15日、ツバメの飛来は3月29日、サシバの渡りは4月4日、カジカガエルとタゴガエルの鳴き声は4月6日、クロツグミのさえずりは4月14日、コマドリのさえずりは4月17日、オオルリのさえずりは4月18日、キビタキのさえずりは4月20日、ヤブサメのさえずりは4月22日、シュレーゲルアオガエルの鳴き声とミゾゴイのさえずりは4月24日、アオバトとセンダイムシクイのさえずりは4月25日、オオヨシキリとセッカのさえずりは4月26日、アオバズクのさえずりは、4月27日、ツツドリのさえずりは5月2日、ジュウイチのさえずりは5月8日、ハチクマとアサギマダラの渡りは5月11日、トウキョウダルマガエルの鳴き声は5月15日、ホトトギスのさえずりは5月17日、サンコウチ



奥山の山地に生息する「エゾゼミ」。市街地や丘陵地などでは見られないので、聞きなれていない人が多いと思いますが、山地帯では真夏の代表的な「鳴き声」です。

ヨウのさえずりは5月23日、モリアオガエルの鳴き声は5月23日、ハルゼミの鳴き声は5月29日などです。この後は、昆虫の出番となります。

この記録を過去の記録と比較すると自然の変化が見えてきます。例えば、種により差は見られますが、今年はウグイスのさえずりやサンコウチョウの飛来が遅くなり、渡り中のエゾムシクイの確認はできず、コマドリも鳴き声は1例のみの確認となりました。このように、各種類の増加や減少、夏鳥の飛来のタイミングなどがわかります。自然は変化するものですが、自然に変わることと、人間の影響で変わってしまうことを見極めるのは、難しい場合があります。そして、自然が被害を受けて変わらないようにすることは、さらに難しく悩ましいことです。(パブロ)